

調査官室

2022-3
令和4年9月発行

だより

現役調査官にインタビュー！

なぜ、調査官になろうと思いましたか？

Tさん(文学部心理学科(実験系))
採用13年目
座右の銘は「人生いろいろ」



(心理職でも)生活をしていくのに困らない程度の収入は確保したかったことと、**人と関わる仕事なら興味につきない**と思いました。

このような割と消去法的な職業選択だったこともあり、大変なことももちろんありますが、幸い今のところ興味を失わずに、働いています。というか、少し物が分かるようになればなるほど、自分の分かっていない・できていないところが感じられてきて、その奥の深さはおもしろいです。

法律を専門とする他の職種との連携が密であり、より広い視点で仕事ができそうなこと、説明会で会った先輩方がとても素敵だったことが決め手になりました。全国転勤というのも、人生のスパイスになって良いかなと(笑)。

説明会で気が済むまで質問したので、就職後のギャップはほとんどないですが、覚悟していた以上に大変な仕事でした。**目の前の人の人生に影響を与えてしまう**ような意見も言わなくてはいけないので。でも、それで紛争が解決したり、少年の表情が変わったりしたときの喜びは何ものにも代え難く、「人」に興味があって、**少しでも誰かの力になりたい**と思っている人にはとてもやりがいのある仕事だと思います。

Sさん(文学部心理コース)
採用4年目
座右の銘は「**為せば成る!**」



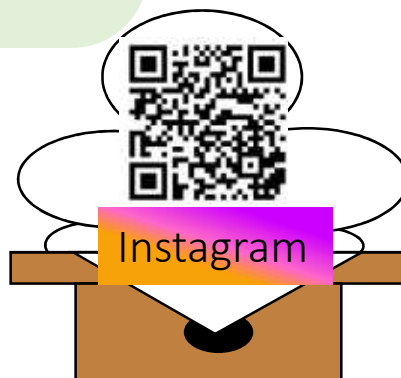
Hさん(法学部)
採用10年目
座右の銘は「**準備を怠らない**」

離婚など子どもに関する紛争において、中立の立場から、**子どもの気持ちや状況を踏まえたより良い解決**を目指し、働き掛けができることに魅力を感じました。

今は、少年係に所属していますが、少年や保護者等から話を聴く上で、専門的な知識だけでなく、**辛かったことや失敗したことを含め自分自身の様々な経験が、相手を理解する上で役に立つ**と感じています。少年の気持ちや考えを引き出すことが難しい場合がありますが、少年が自分の問題に気付き、改善策を考えるようになってくれたときにやりがいを感じます。

このように色々な思いを持って働く調査官に会ってみませんか??ぜひ、**オンラインイベント**に参加して、現役の調査官と話してみてください!!

「家庭裁判所調査官」についてのご質問は、京都家裁企画係まで。
電話:075-722-7211(内線455)
※平日午前9時~午後5時でお願いします。



は SNS
はじめました

